

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
～タブレット端末を活用した学びの定着にむけて～

方上学校  
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

|                  |    |                |
|------------------|----|----------------|
| 学力向上推進員<br>細井 文乃 | 委員 | 校長・総括 吉田 勝重    |
|                  |    | 教頭・総括補佐 長谷川 美穂 |
|                  |    | 教諭・教務主任 内藤 聖佳  |
|                  |    | 教諭・研修主任 渡邊 美記  |

校長

吉田 勝重

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)   | 具体的目標(目指す子供の姿)   | 具体的方策(教員の取組)   | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|--|---------|----------|-------------|
| ○与えられた課題には真面目に取り組むことができる。<br>●基礎的・基本的な知識・技能の定着が十分にできていない児童が多い。 | ・漢字の読み書きや計算プリント、タブレットでの繰り返し学習をしたり、継続的に読書をしたりすることができる。<br>・身につけた個別の技能について、他の学習や生活の場面において活用することができる。 | ・朝の活動でタブレットなどを活用し、学年にとらわれず振り返り、自主的に課題に取り組むことができるようにする。<br>・既習の知識を生かすことができる、教材や発問の工夫をしたり、場面を設定したりする。<br>・読書推進のための具体的な目標を学年ごとに設定し、継続的に取り組むことができるようにする。 |         |          |             |

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)  | 具体的目標(目指す子供の姿)   | 具体的方策(教員の取組)  | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|--|---|---------|----------|-------------|
| ○課題にまじめに取り組む児童が多い。<br>○課題解決の際に、自分の考えをもち、考えを言葉で発表することができる児童がいる。<br>●自分の言葉で発表することが苦手な児童や考えをもっていても、自分の意見に自信がもてず、考えを伝えられない児童がいる。<br>●課題を終わらせるので精一杯となり、思考が深まる機会が十分でない。 | ・友達の意見をしっかりと聞き、自分の意見との違いに気づいたり、参考にしたりすることで、自分の意見を伝えることができる。<br>・タブレットなどを使用し、自分の考えをまとめたり、整理したりすることを通して、自分の意見を表現することができる。<br>・課題を精選したり、課題を選択したりすることにより、自分に合った方法で思考力を深める。 | ・ペアやグループで意見を交流してから発表することで自分の考えに自信をもてるようにする。<br>・発表ナビを作成し、自分の考えを友達にうまく伝えられるように支援する。<br>・聞き方ナビ、話し方ナビ、発表ナビを作成し、自分の考えを伝えられるようにしたり、友達の意見を聞いたりすることができるように支援する。<br>・児童に提示する教材の精選・工夫する。<br>・児童の実態を把握し、形式的に評価していく。 |         |          |             |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題)   | 具体的目標(目指す子供の姿)   | 具体的方策(教員の取組)   | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|--|---------|----------|-------------|
| ○各授業へ一生懸命取り組むことができる。ドリルなどの家庭学習にも主体的に取り組むことができる。<br>●自分の考えを客観的に捉えたり、自分で計画を立てて学習に取り組んだりすることに課題がある。 | ・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。<br>・自分の考えを客観的に捉えることができる。<br>・自分の学習状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるように計画を立て、実践することができる。 | ・授業の中で、自分の考えをもったり、まとめたりする機会をできるだけ多くとる。<br>・ワークシートやタブレットなどを活用し、児童の思考の過程や学習の振り返りが残るようにする。<br>・自分で計画を立て、課題に主体的に取り組む学習を積極的に行う。 |         |          |             |

令和6年度 学力向上ロードマップ

